

# 株式市場新聞

www.marketpress.jp

1 第379号

日経平均株価

3万7934円76銭

▲306円28銭(前日比)

TOPIX

2686.48

▲22.95(前日比)

2024

4/29

月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪府中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



## 3月期決算発表本格化!

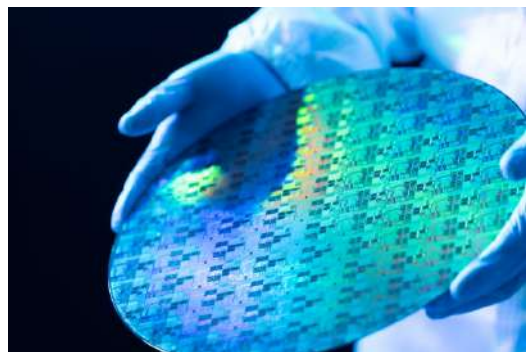
### まずはレーザーテックを注視!

5月7日のゴールデンウィーク(GW)明けと共に3月期企業の決算発表が本格化する。海外企業では既にオランダのASMLや台湾のTSMCの決算が発表され、これらでも指数の上昇を牽引したこれらハイテク企業の今後の見通しが注目されるうえ、物色範囲の拡大という意味では自動車大手や設備投資、内需を含めて幅広い業種で次期業績拡大が予想される企業を探すことになりそうだ。

### ハイブリッド好調のトヨタ

GW前では3月期企業ではないが、4月30日に発表されるレーザーテック(6920)

露光装置がEUVの需要



#### 半導体の次期予想はどうなる?

の2024年6月の第3四半期累計決算が注目されよう。既に1月31日に通期の連結営業利益で640億円から670億円(前期比7.6%増)へ上方修正している。特に注目

のTSMC向け需要で、この伸びが市場予想より鈍化すればネガティブ視される可能性がありそうだ。GW明けでは5月8日にトヨタ自動車(7203)、9日に日産自動車(7201)が続く。トヨタはグループ不正による生産台数への影響はあるものの、ハイブリッド車の世界的な好調は続きそうだ。日産自は既に4月1

#### 日経平均の日足チャート



9日に販売台数減で24年3月期予想を下方修正している。次期に関して販売台数増を図るべく具体的な戦略を示さないと再度、株価も下方リスクが伴う。ゲームでは7日の任天堂(7974)、9日のカプコン(9

697)、13日のスクウェア・エニックス・ホールディングス(9684)と続く。任天堂は次世代ゲーム機の動向が注目され、カプコンはダウンロード販売の好調が続く。傘下に半導体大手のアーム社を持つソフトバンクグループ(9984)は5月13日、海運では商船三井(9104)が4月30日、日本郵船(9101)は5月8日に発表を予定している。

4月第3週の動意銘柄

# QPS研ストップ高

## 今期上方修正で黒字浮上

から16億4000万円(前期比4.4倍)へ、営業損益で4億7000万円の赤字から2億9000万円の黒字(前期

週明け15日、QPS研(595)がストップ高。24年5月の業績予想について、売



【J-SOCIETY】売上と配当減額

ジンズホールディングス(3046)がストップ安。24年8月期の業績予想

# ニテックCDU大幅増産

16日、ニテック(6594)が大幅高で新値。タイのサーバル用冷水モジュール工場のCDU生産ラインを増強、キャパシティを現在の月産200台から6月までに月産2000台に拡大すると発表した。米AIサーバーメーカーのSupermicro社への採用を受けて増産で、共同

# IDOM26%営業増益

IDOM(7599)がストップ高。25年2月期は連結営業利益で前期比26.0%増の203億円と大幅な増益を見込んでいることが好感された。価格設定の精度向上と小売に伴う付帯収益増加の取り組みを引き続き着実に実施することで、粗利は増加を見込む。

# 住石HD上方修正増配

住石ホールディングス(1514)がストップ高。24年3月期の業績予想について、連結売上高で196億円から225億円(前期比43.6%増)、営業利益で58

# 正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は反発。日経平均は週間で866円上昇しています。前の週が2455円安と今年最大の下落になったことで買戻しや押し目買いが入りやすく、イスラエルとイランの紛争拡大が回避され、を見せ始めました。向に振らさ政策決定会ことが安心

# 候補銘柄をピックアップ

今週は連数が3日しかありませんが、米国ではFOMCが開催され、アマゾンやAMDなど注目企業ガーテックをはじめ半導体関連数社が決算発表を予定しています。FOMCの結果を受けた米長期金利と円買い介入を含めた為替の動向、決算内容と株価の反応を確認して、次の候補銘柄をピックアップする考えです。花咲翁



# 公開価格4.6%下回る

ウィルスマートの初値WILLISMA(175A)が

東証グロース市場に新規上場、公開価格1656円を4.6%下回る1580円で初値をつけた。モバイル業界向けを中心にDX技術を開発したソリューションの企画・提案、ソフトウエアの受託開発と運用支援を行う。

# AGSがストップ高

## データセンター関連で人気化

17日、AGS(3648)がストップ高。データセンター関連として人気を集めており、今月に入ってから一気に1445円まで上昇した。埼玉りそな銀行、NTTデータと加須市をはじめとする埼玉県内の自治体と「ipitLINQ」差押電子化サービスを活用した差押業務を開始しており、自治体の電子化に絡む受注増も期待されている。

## オプティマスG急落

オプティマスグループ(9268)が急落。24年3月期の業績予想について、連結営業利益で69億円から68億1200万円(前期比2.3倍)へ下方修正した。M&A関連費用が当初の想定より増加している。

## レゾナック上方修正

レゾナック・ホールディングス(4004)が急伸。24年12月期の業績予想のについて、連結売上高で1兆3300億円から1兆3600億円(前期比5.5%増)へ、営業利益で280億円から470億円(前期37億6400万円の赤字)へ上方修正した。円安に加え、半導体材料やHDIメダイアの需要回復が期初の想定以上に進んでいる。



## あさくま優待制度拡充

18日、あさくま(7678)が急伸。株主優待制度の拡充を発表した。これまで年1回の食事券を1月末と7月末の年2回に増やす。新設する優待は100株以上保有する株主に「あさくまおせち」などの商品を抽選で贈

## 住信SBI短プライ上げ

住信SBIネット銀行(7163)が急反発、最高値を更新した。ローン金利について変動型住宅ローン基準になる短期プライムレートを年1.675%から1.775%に引き上げたことで収益改善が期待された。

### 松井証券

今こそ始めるデイトレード

## 松井証券の一日信用取引

手数料0円 金利・貸株料0~1.8%

取引コスト

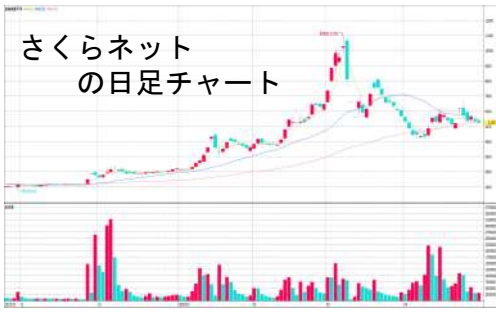
プレミアム空売り

独自サービス

最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら

marketpress.jpのパナーをクリック



# さくらネットがS高

## 経産省AIスパコン整備に補助

国内整備に乗り出すと伝わった。AI開発が経済安全保障の観点で重要だと判断し、KDDI(9433)や同社など5社のAIスパコンの整備に計725億円

9日、週末1日、さくらネット(3778)がストップ高。「経産省が人工知能(AI)を開発する際に使うスーパーパソコンの

週末22日、東京エレクトロン(8035)やディスコ(6146)、KOKU SAI ELECTRIC(6525)、ソシオネクスト(6526)、スクリーンホールディングス(735)、アドバンテ

### 半導体関連下げ目立つ

24年の半導体市場見通しを引き下げたことで、米国株市場でSOX指数が1.6%下落、米関連株売りの流れが波及した。TSMCの市場見通しの下方修

### 4月第4週の動意銘柄

正引き続き買いを手控えさせており、東エレクトは外資系証券の投資判断引き下げも重荷になった。

「3D Gaussian Splatting」がスト

ケミプロ35%営業増益 (4960)がストップ高。24年3月期の業績について、連結営業利益で4億7000万円から4億8000万円(前期比34.5%増)へ上方修正した。主力のプラスチック添加剤の販売が増加、受託製造製品の追加受注獲得が工場稼働率改善に寄与し、生産休止費用の計上が減損処理資産の処分・圧縮を進めた。

スト(6857)をはじめ半導体関連銘柄の下げが目立った。米国市場でエヌビディアが10%安と急落、SOX指数は4%超下落しており、米関連株売りの流れが波及した。TSMCの市場見通しの下方修

ブロンコB営業益2.6倍

提供することにより顧客の改善に取り組んだ。

ケミプロ化成(4960)がストップ高。24年3月期の業績について、連結営業利益で4億7000万円から4億8000万円(前期比34.5%増)へ上方修正した。主力のプラスチック添加剤の販売が増加、受託製造製品の追加受注獲得が工場稼働率改善に寄与し、生産休止費用の計上が減損処理資産の処分・圧縮を進めた。

東京エレクトロン(8035)やレーザテック(6920)など主力のほか、ディスコ(6146)やタツモ(6266)、TOWA(6315)など中小型を含め半導体関連株が総崩れ。米早期利下げ期待後退と台湾TSMCが

24年の半導体市場見通しを引き下げたことで、米国株市場でSOX指数が1.6%下落、米関連株安の流れを受け、東京市場では利食い急ぎの動きが下げに拍車をかけた。

週足、陰の陽孕み

先週の株式市場は反発しました。前週が2455円もの大幅安となったことで定石通りのリバウンド局面となりました。週足ローソク足は大陰線に陽線が孕んだ形です。攻防の分岐であり、今週上放れの陽線となれば底入れ機運が高まりますが、そうでないと一時的な自律反発と解釈すべきでしょう。

移動平均線に目を向けると5週線と13週線が3万8750円近辺でのデッドクロスとなりそうです。となれば戻り売り圧力が高まるため、13週線を回復するまでは戻り売り対処となります。3月22日高値からは週足二段下げからのリバウンドとなっており、三段下げに向かうのか、既に調整底打ちとなったのかを見極める段階ですが、足元では決算発表が本格化しており、個別対応に終始し、テーマが広がりにくいところであるため、無理をするところではありません。

半導体関連が総崩れ

ケミプロ化成(4960)がストップ高。24年3月期の業績について、連結営業利益で4億7000万円から4億8000万円(前期比34.5%増)へ上方修正した。主力のプラスチック添加剤の販売が増加、受託製造製品の追加受注獲得が工場稼働率改善に寄与し、生産休止費用の計上が減損処理資産の処分・圧縮を進めた。

転ばぬ先のテクニカル

ケミプロ化成(4960)がストップ高。24年3月期の業績について、連結営業利益で4億7000万円から4億8000万円(前期比34.5%増)へ上方修正した。主力のプラスチック添加剤の販売が増加、受託製造製品の追加受注獲得が工場稼働率改善に寄与し、生産休止費用の計上が減損処理資産の処分・圧縮を進めた。

ケミプロ化成(4960)がストップ高。24年3月期の業績について、連結営業利益で4億7000万円から4億8000万円(前期比34.5%増)へ上方修正した。主力のプラスチック添加剤の販売が増加、受託製造製品の追加受注獲得が工場稼働率改善に寄与し、生産休止費用の計上が減損処理資産の処分・圧縮を進めた。



日々勇太朗



# 国内初新機能を提供 生成A Iで訪問看護計画作成

看護ステーションの平均利用者数は51人(厚生労働省調査)とされており、今回のシステムで1件12分短縮されれば、年間で約120時間の削減となり、訪問看護師の負担が大幅に軽減される。

eWell(5038)は生成A Iを活用して訪問看護計画書をワンクリックで自動作成する国内初のシステム「A I訪問看護計画」を訪問看護専用電子カルテ「iBow」に搭載し、サービスを開始した。

在宅医療の重要な役割を担う訪問看護師不足が深刻化している。看護師の業務は多岐に渡るが、その中でも毎月利用者毎に行う訪問看護計画書の作成には、一定の経験を要し、作成にはおおよそ15分~30分程度の時間を要している。

同社でのこの負担を軽減すべく、ワンクリックでインターネット上の公開情報とiBow内のデータを分析した上で生成A IのChatGPTにかけ、訪問看護計画書が数分で

自動作成できる「A I訪問看護計画」を開発した。訪問

「A I訪問看護計画」は4~9月の期間は無料で提供し、10月からは現在開発中の「A I訪問看護報告」を加えて、1訪問につき200円で提供し、25年1月には「A I訪問スケジュール」のリリースも予定している。



「A I訪問看護計画」のデモ画面

## 特選銘柄

自動作成できる「A I訪問看護計画」を開発した。訪問



## RIZAP G 続急伸

想定より損益改善と伝わる

23日、RIZAPグループ(2928)が続急伸。「RIZAPグループ」の2024年3月期の連結営業損益が会社想定より改善したと伝わったことが好感された。「会社側は2月に18億円の営業赤字と公表していたが、少なくとも10億円近く上振れしたと算出が大きい」とし、低価格シム「c h o c o z a p (チヨコザップ)」の会

員増などを指摘している。

## LIxil下方修正

38)が反落。24年3月期の業績について、連結売上収益で1兆5300億円から1兆4830億円(前期比0.9%減)へ、営業利益で280億円から10.7%減)へ下方修正した。不動産市場低迷による想定以上の住宅設備・建材の需要低下がみられた。

## リンカーズは協業

3つの領域で相互

製造業分野を展開。インフラ分野で、

貢献が期待された。

## CAICAパートナー認定

傘下のCAIC Aテクノロジー(2315)が急伸。ch(インド)か

# ～決算情報～

## 日本精線

### 25年3月期13%営業増益 中計で売上高500億円目指す

日本精線（5659）の今25年3月期は連結売上高で450億円（前期比0.6%増）、営業利益で40億円（同13.1%増）、純利益で28億円（同8.8%増）と増収増益を見込んだ。27年3月期を最終年度とする中期経営計画（NSG26）がスタートし、サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の開発深化、生産基盤強化と生産性向上、水素回収技術の深化、ESG経営（資本コストや株価を意識した経営）を基本方針として企業価値向上を図る方針。極細線の能力増強投資や東大阪工場における酸洗・被膜工程の自動化、グローバル拠点の機能拡大などを図り、電子部品の高性能化に貢献する高機能極細線などに組み、27年3月期に連結売上高500億円を目指す方針だ。

### ゼオン29%営業増益

週末26日、日本ゼオン（4205）が3月期の連結業績を発表、営業利益で前期比29%増の26億5千万円と大幅な増益を見込んだ。同時に上限された。1000万株（発行

東光高岳ストップ安  
（6617）がストップ安。同社は25日の取引終了後、25年3月期の業績予想を発表、営業利益で前期比51.5%減の40億円と大幅な減益を見込むことが懸念された。一連の不適合事実に伴う対応費

三益半導体はTOB  
（8155）がストップ高。25日の取引終了後、信越化学工業（4063）が完全子会社を目指すべく一株3700円で公開買い付け（TOB）を行うと発表した。TOB価格にサヤ寄せするかたちで水準を切り上げた。

## 高並み軒半導体

### SOX指数高くTexas In急騰

24日、東京エレクトロン（8035）やアドバンテス（6857）、レーザーク（6920）、デイスコ（6146）など半導体関連が軒並み高。米国市場ではエヌビディアやASMLなど半導体関連の上昇が目立ち、SOX指数

数が2.2%上昇、テキサス・インスツルメンツが4.6月売上高の強気見通しが好感され、時間外で急騰しており、米ハイテク株高の流れを受け、買戻しの動きが活発化した。野村マイクログ・サイエンス（6254）は上方修正を好感してストップ高。公開価格0.4%上回るレジルの初値（176A）が東証グロース市場に新規上場、公開価格

1200円を0.4%上回る1205円で初値をつけた。集

## 桜ゴム大幅上方修正

25日、桜護謨（5189）がストップ高。24年3月期の業績予想について、連結売上高で114億円から133億5000万円（前期比2.3%増）、営業利益で6億6000万円から1億3000万円（同24.9%増）へ大幅

東ガス今期も大幅減益  
東京瓦斯（9531）が急落。25年3月期の連結業績は、売上高2兆6420億

コージンBの初値  
（177A）が東証グロース市場に新規上場、公開価格1900円を6.8%上回る2030円で初値が生まれた。細胞の培養に用いる培地の開発・製造・販売と細胞加工物の製造受託を行う。

合住宅への電力供給と分散型電源開発法人へ再生可能エネ電

力供給、BPOとSales提供を通じたDX支援を行う。

自社株買いを発表したが、反応は限定された。

# 高野恭壽の 株式情報

# これでどや!!



株式市場新聞の名物コーナーが復活!

個人消費支出が、前回より幅増大

村HD(860)も注目

D Pが1・8%増  
と前期の3・4%増

## 大手証券株は要注目

券G(860)が好決算

(4503)は今年業績回復

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。公式ホームページ <https://marketpress.jp/kabu-takano/>

大型連休前の東京市場市場は波乱の動きでした。4月25日の日経平均は24日の上げ分を帳消しする下落でほぼ全面安となりました。日経平均採用銘柄でプラスとなったのはわずか18銘柄という結果になり、前日の上げた銘柄はほぼ下落したことになります。下落の原因は戻り待ちの売りがでたことや米国で第1四半期のGDPや個人消費支出の物価指数の発表を前にしてとりあえず手を透かしておこうとの動きが強まったためです。また、大型連休前というところもあって処分売りも重なりました。米国の指標はGDPが1・8%増と前期の3・4%増を大幅に下回り、個人消費支出が、前回より幅増大

# 好決算銘柄が物色の中心

物価指数は前期の2%と3・7%とから大きく伸びました。その結果、10年物国債利回りが5カ月ぶり水準まで上昇、米国株式は375ドル安38085ドルまで下落し、先週末からの上昇分を大きく逆戻りする下落になりました。

円相場は155円半ばを超え円安が進みました。日米金利差の拡大とドル売り介入が実行されなかったためです。26日は日銀会合の結果が発表されましたが、事前予想通り現状維持でした。日米とも大きなイベントを通過したことで、好決算銘柄などが戻す可能性が高いでしょう。下落が大きかった医薬品では特にアステラス製薬

## 購読会員募集中!

<https://marketpress.jp/subscribe/>

株式市場新聞では、購読会員を募集しています。

## 短期値幅取り候補銘柄!!



【正直じいさんの株で大判小判】でお馴染み!! 花咲 翁氏が独自の分析で値幅取り候補銘柄を紹介。

# 株式市場新聞

[www.marketpress.jp](http://www.marketpress.jp)

# 家と人生の プロがいる。

相続、介護、転勤など人生の転機は、住まいの転機です。

そんなとき、大和ハウスは住まいのプロとしてはもちろん、  
1人1人の人生、1つ1つの家族の人生にまで  
寄り添えるプロでありたい。

お客様が住まいと接点をお持ちになったところから  
長く一緒に歩んでいきます。

人・街・暮らしの  
価値共創グループ  
だからこそその総合力

創業60年。180万戸を  
超える供給実績と、  
幅広い提案。

多分野の  
専門家による  
360° チームケア

税理士・司法書士など  
多くの分野の専門家と  
連携。

エンドレス  
サポート

お客さまを最もよく知る  
パートナーとして  
末長くそばに。



住みかえは大和ハウスグループで

# Livness

[リブネス]

大和ハウス工業株式会社 大和ハウスリアルエステート株式会社 大和ハウスリフォーム株式会社 大和ハウス賃貸リフォーム株式会社 株式会社コスモスインシア 大和リビングマネジメント株式会社 大和ライフネクスト株式会社 株式会社デザインアーク



大和ハウス工業株式会社〈不動産ストック事業〉  
www.daiwahouse.co.jp

0120-413-109 **リブネス** 検索

東京本社 リブネス事業推進部  
東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112  
Tel 03-5214-2424

本社 リブネス事業推進部  
大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241  
Tel 06-6225-7838





# 星野三太郎の株街往来

## ～ネットビジネスは無法地帯～

インターネットの地図サービス「グーグルマップ」のロコミに悪質な内容を投稿されても、グーグルが十分な対応をせず、利益を侵害されたなどとして、医師ら約60人が損害賠償を求め、集団訴訟を起した、というニュースが目をつけた。

筆者もこのグーグル

でのロコミなどを確認してから自宅近くの歯科医院で受診したことがあるが、ネガティブな投稿とは真逆で、とても適切で親切な対応をして貰った。ネット上での書き込みは匿名だから、何を書いても許される雰囲気がある。本来、GAF Aクラス

の世界的なネットビジネス大手ならAIを駆使して問題ある書き込みは排除できるのではと思うが、実際には野放しなんだろう。

グーグルは「不正なレビューを削除している」などのコメントをしているようだが、広告を含めて明らかに問題ある内容のものが数多くある。それらも収益になるのだから黙認していると思えてしまう。

今回の集団訴訟を契機に著名人や専門家を含めて多くの方が声を上げるべきだ。



## New product

**焼肉坂井HD** 一本釣り「初鯉たたき」  
炭火で炙りたたきにして上品な薫り



焼肉坂井ホールディングス（2694）が運営する居酒屋「とりあえず吾平」ではさっぱりした味わいが美味しく、今年初めて水揚げされた独特の風味のカツオの一本釣り「初鯉たたき」を4月24日から期間限定で販売している。

春から初夏にかけて黒潮にのって、太平洋を北上するカツオは脂身が少なく、さっぱりとした味わいが特徴。また、表面を炭火で炙りたたきにして上品な薫りに仕上げた。江戸時代中期には、俳人の山口素堂が詠んだ「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」にもある通り「初鯉」は春の風物詩の一つで旬な食べ物として重宝されており、ポン酢をかけると上品な薫りが際立つ。

## タイヤ摩耗検知システム

住友ゴム工業

村田製と共同開発、実証へ



タイヤ摩耗検知システム

住友ゴム工業（5110）は村田製作所（6981）と、タイヤ形状を三次元でとらえて摩耗を検知し、ユーザーへデータでフィードバックするタイヤ摩耗検知システムを共同開発している。同システムは、2025年より順次DUNLOP直営店へ

順次DUNLOP直営店へタイヤランド）で実証を開始する予定。

同システムはスマートフォンアプリケーションを用いて摩耗検知デバイスでタイヤをスキャンし、タイヤ表面データをアルゴリズムで解析することで、タイヤ摩耗を三次元で正確に把握することが可能になる。ユーザーには3段階でタイヤ各主溝の摩耗状態が表示されるとともに、偏摩耗があった場合にはその位置の実証を通して計画的なメンテナンスにより車両稼働率の向上に繋げることができるとしている。



## 潮流

## 悪材料重なる今こそ好機

## 半導体成長路線に変わらない

market/bAnk



日米の株式市場が調整に入っている。米国の利下げ時期が先送りされること

への失望感から売りが一気に広がった。

米連邦準備理事会（FRB）のインフレ封じ込めシナリオが修正されそう。パウエル議長は物価上昇率が2%に戻る確信を得るには「予想以上に時間がかかりそう」と述べ、物価認識を修正した。米長期金利が4.7%まで上昇し、ハイテク株を中心に売りが拡大した。

高金利が続けば、米経済のソフトランディング（軟着陸）の前提が崩れかねない。外国為替市場では日米金利差の拡大が意識され、「ドル買い・円売り」が進んだ。対ドルの円相場は一時1ドル＝154円79銭まで下落し、1990年6月以来およそ34年ぶりの安値を付けた。

政府と財務省は155円を超える円安には円買い介入を行う可能性が高い。155円台では仕組債の「ノックアウト」の条件設定が多く、損失確定の円売りが加速する。やはり円買い介入を考えているのではないか。株式市場と外為市場が不透明な動きをしている時に、イランによるイスラエルへの無人機（ドローン）とミサイル攻撃という地政学リスクが重なった。

さらに、オランダの半導体製造装置大手ASMLホールディングの1～3月期決算は売上高

や将来の売上高につながる受注額が市場予想を下回った。4月17日の日本株は午後発表されたASMLの決算発表を受けて、半導体と製造装置需要の先行きに対する懸念が膨らみ、東京エレクトロン、アドバンテ

スト、レーザーテック、スクリーンなど半導体関連株が大幅下落。日経平均は3万8000円の大台を割り込んだ。

ASMLは17日の米株式市場で7%安となった。米半導体関連株のアップサイドマテリアルズやエヌビディアが大幅下落となった。ASMLの受注額の減少は四半期のブレの範囲で、半導体製造装置（SPE）市場は底入れ後の緩やかな回復局面という状況が変化したわけではない。

2024年後半から25年にかけての成長ストーリーに変わりはない。また、世界最大の半導体受託生産会社（ファウンドリー）である台湾積体回路製造（TSMC）が18日発表した2024年1～3月期決算は過去最高を更新した。悪材料が重なって売られている時こそ買いのチャンスだ。

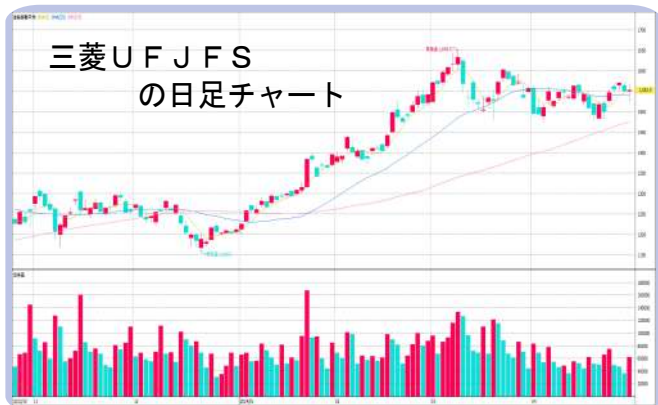
潮流銘柄は三菱UFJフィナンシャル・グループ（8306）、FPG（7148）、SBIアルヒ（7198）。

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2022年1月の夕刊フジ主催の「株1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>



岡山憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール  
1999年2月日本初  
の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年

TSMC 1～3月最高業績



# 為替介入後が狙い場？

## GW中はアルゴ中心の展開

先週の日経平均は前週末比約866円高と2週間ぶりに週足陽線となった。イスラエルとイランの紛争拡大が避けられそうなことや米国長期金利が落ち着きを見せたことから相場は反転、上昇した。前々週に約2400円強下げた割には戻りの鈍さも感じられる。

注目の日銀金融政策決定会合の結果は現状維持の決定であった。噂される

ていた長期国債の買い入れ額減少もなく、肩透かしを食らった感じである。その結果、為替は円安に動き、約34年ぶりに158円台後半まで円安が進んだ。2020年3月の101・17円から約4年で5割強自国通貨が下落しており、この現象は先進国では日本のみである。

野村証券によると世界株投資に占める日本株の割合は時価総額比率と比べ0・6%のマイナスのようである。時価総額比率並みになるとすれば、約20兆円の買い需要があるという。仮に半分のマイナス0・3%までマイナス幅が縮まるとなればTOPIXを15%〜20%押し上げる効果があるという。

建てで見れば日本株は割安に映るはずであるが、海外投資家は日本株を本気で買ってこない。

### 敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話



ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



為替介入あるか？（財務省）



欧米ではコロナ後の連続利上げで株価が大きく下落したが、日本は利上げに転じたとは言ってもまだインフレ率を引いた実質政策金利はマイナス2%である。日銀が追加利上げをしたところでは欧米の実質政策金利2%台には程遠い。

それより、急激な円安を放置する方が経済に悪影響を与えらると思われ。2022年に行った為替介入時には一時株価は下がったが、海外投資家は大きく買い越している。今回も円安トレンドが変更したときにはドル建てで運用している海外投資家の買いは期待できよう。為替介入で株価が下がったところは買い場だと思われ。

今週からゴールデンウィークとなり、立ち合いは3日間となる。薄商いの中で先物中心の方向感の乏しいアルゴリズム取引中心の展開になる。今週のレンジは3万7400円〜3万8900円を想定する。（ハチロク）



# 相場見通し

記者の視点

## GW中はパウエル会見

### レーザーテック決算を注視

（GDP）の伸び鈍化によるニューヨーク市場急落もあり、25日のナイトセッションでは3万7100円台まで急落する場面もあった。その後はマインクソフトとアルファベットの好決算で日本の半導体大手も買い戻しの動きとなったが、取り敢えずは様々な不安要因を乗り越えての週末の動きから過度な下値不安は後退したと見た。

今週は4月30日からの3日間しか取引がないことから市場参加者は少なく動意薄の動きが想定される。イベント的には米国では30日にアマゾン、5月1日にクアルコムが決算発表、Cを受けての

パウエル議長の会見が予定されている。これらを受け下すれば日経平均の動きにも影響を与えそうだが、土日を除くGW中は祝日取引が行われることから日経平均先物・OPを活用してリスクヘッジを行うのも一法だろう。

国内では30日にレーザーテック（6920）が決算発表を予定している。EUV露光装置のTSMC向け需要（1面参照）などの動向次第では他の半導体大手の株価動向にも影響を与えそう。



とイランによる報復の応酬はフェイスブックの親会社メタ・プラットフォームズの低調な業績予想を受けてハイテク企業全般への不安が拡がり、ナスダック指数が急落。これと連動して日本の半導体大手も値を崩す場面があり、第1・四半期の米国内総生産



## 当面のスケジュール

- 30日 3月失業率・有効求人倍率  
3月鉱工業生産  
3月商業動態統計  
中国4月コンポジットPMI、製造業PMI、中国4月非製造業PMI  
中国4月Caixin製造業PMI  
FOMC（～5/1）
- 1日 パウエルFRB議長会見  
米4月ADP雇用統計  
米4月ISM製造業景況指数
- 2日 3月18・19日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨  
4月マネタリーベース  
4月消費動向調査  
米3月貿易収支  
米3月製造業受注
- 3日 米4月雇用統計
- 9日 4月25・26日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」  
3月毎月勤労統計調査  
3月景気動向指数  
中国4月貿易収支
- 10日 3月家計調査  
4月景気ウォッチャー調査  
オプションSQ

## 編集後記

偽広告による投資詐欺で、メタの日本人に対し被害者らが集団訴訟を起こした。被害の大きさや虚偽広告が多数掲載されている状況から、メタに注意義務違反があったと主張。クレームは世界各地で相次いでいるが、何故、訴訟大国の米国でメタが責任を追及されないのか。米通信品位法に双方向情報交換サービス事業者は投稿されたコンテンツへの責任を負わないという規程があるからだという。ただ、問題を放置すればメタの事業運営と株価へも悪影響及ぼす可能性がある。対策強化が急務だろう。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。